

応募申請書案

2026 年 5 月 10 日締切分

申請書に記載すべき事項 注意事項	応 募 申 請 書 記 載 例 他
申請者氏名 (生年月日) 必ず、生年月日（西暦）と第2チャレンジ参加年度を記載すること。選考委員会で確認します。	JPhO 太郎 （生年月日） 2020 年度第 2 チャレンジ参加
申請者の連絡先住所 E-mail	
所属	〇〇大学大学院理学研究科修士課程 2 年 (2026 年 9 月 1 日現在)
渡航先国名 あるいは 地域名、期間	
参加する集会名あるいは会議のプログラム名	
集会等での講演の有無 講演予定の場合、講演予定者名、講演タイトルを記載してください。また、口頭発表あるいはポスター発表の別を記載すること。	講演予定有（口頭発表）
支援希望金額合計	全額：297,000 円
内訳 交通費、宿泊費、参加登録料の領収書あるいは見積書のコピーを送付すること。見積書の場合、事後、領収書の提出が必要です。 航空運賃は航空会社、	交通費計：165,000 円 航空運賃 156,000 円 出発地から国際空港までの往復交通費：3,000 円 国際空港から滞在地までの往復交通費：6,000 円 (40US\$) 宿泊費、参加登録料の計：132,000 円 宿泊費 72,000 円 (12,000 円×6) 参加登録料 60,000 円 (400 US\$)

<p>購入期日により大きく異なります。できるだけ廉価になるようにすること。</p>	
<p>学会での発表歴</p> <p>発表歴がない場合は、この行を省略してよい。</p>	
<p>発表論文</p> <p>発表論文が有る場合、発表者名、論文タイトル、雑誌名、号数、ページ数を記載。</p> <p>また、査読付き雑誌に掲載された論文1篇を添付すること。</p> <p>発表論文が無い場合、この行を省略してよい。</p>	
<p>指導教員</p> <p>指導教員による推薦書は、申請書等提出先に送付してもらうこと。</p>	<p>〇〇大学・教授</p> <p>E-mail アドレス</p>
<p>本申請の必要性</p> <p>申請者にとって本申請の必要性を、右欄の検討項目 A、B、C、D について、できるだけ具体的に記入してください（1000 字以内）。</p> <p>必要なファイルがあれば、本項目内に明示して送付すること。</p>	<p>検討項目 A、B、C、D：</p> <p>A 申請者が専門性を向上させるために、研究・集会等に参加することの意義</p> <p>B 参加する研究・集会等の学術的意義</p> <p>C 参加する研究・集会等に対する申請者本人の取り組み・貢献度</p> <p>D 支援希望額の妥当性</p> <p>自身の研究費等を持っている申請者は、この支援を必要とする理由を記入してください。</p>
<p>申請者によるコメント</p>	